

”ありがとう”の由来



まどりのおばさんの子育て時代、卒業シーズンになるとNHKの「みんなのうた」の番組から、こんな歌が流れてきました。

「ありがとう さようなら みんなみんな ♪…」

おばさんはこの歌を聞くと、ググツときたものでした。仲間たちや先生に感謝を伝える歌です。「ありがとう」という言葉は、毎日でも使われる言葉ですが、最近読んだ(見た)本で思いを新たにしました。昨年からベストセラーが続いている『君たちはどう生きるか』(原作・吉野源三郎)のマンガ本の中に、「ありがとう」のもとの意味が書かれていました。

「ありがたい」を漢字で書くと「有り難い」になります。「そうあることがむずかしい」「めったにあることじゃあない」という意味だそうです。なるほど…。皆さんの学校生活もスミス寮での生活も、当たり前と言えば当たり前ですが、めったにあることではなくて一度きりの時間だったんですね。

この本は14歳のコペル君と叔父さんの物語です。コペル君が悩んだことや、疑問に思ったことを叔父さんがノートで応えます。コペル君は叔父さんがつけたあだ名です。地動説を唱えたコペルニクスに因んでいます。その訳は原作でもマンガ版でも見てのお楽しみ。

編集後記 *まどりのおばさんたちも、皆さんとの出会いをありがたく思っています。何かの機会に、まどりのごはんを思い出していただければ幸いです。



6年生の皆さん ご卒業おめでとうございます

春からは、一人暮らしで、自分でごはんを作る方も多いと思います。忙しくて間に合わせて食べたり、つつい外食や売っているお惣菜に頼ってしまうこともあるかと思いますが。しかし毎日の食事は健康維持の第一歩だということを忘れないでください。忙しい人も、外食しがちな人も、賢く食べるために、食べるこの意味について考えてみましょう。

食事は「生きていくために必要な栄養素を摂取する」という大きな意味があります。そのため、どんな栄養素が含まれているのかを知ることは賢く食べる基本です。ただそれだけでは、栄養が計算された宇宙食のような食事を毎日とればよいということになります。しかし、これでは味気ないですね。

おいしいものを食べると体だけでなく、心も満たされ幸せな気持ちになります。ストレスがたまったときには、ゆっくりと気持ちを落ち着けて、おいしい食事を取りましょう。ストレスも自然に解消しているかもしれませんよ。そんな時には、寮でのたくさんの友達との楽しい食事を思い出すのではないのでしょうか。まどりは、これからも安全でおいしい食事を作っていきたいと思います。

まどりのごはんを食べていただきありがとうございました。(I・K)